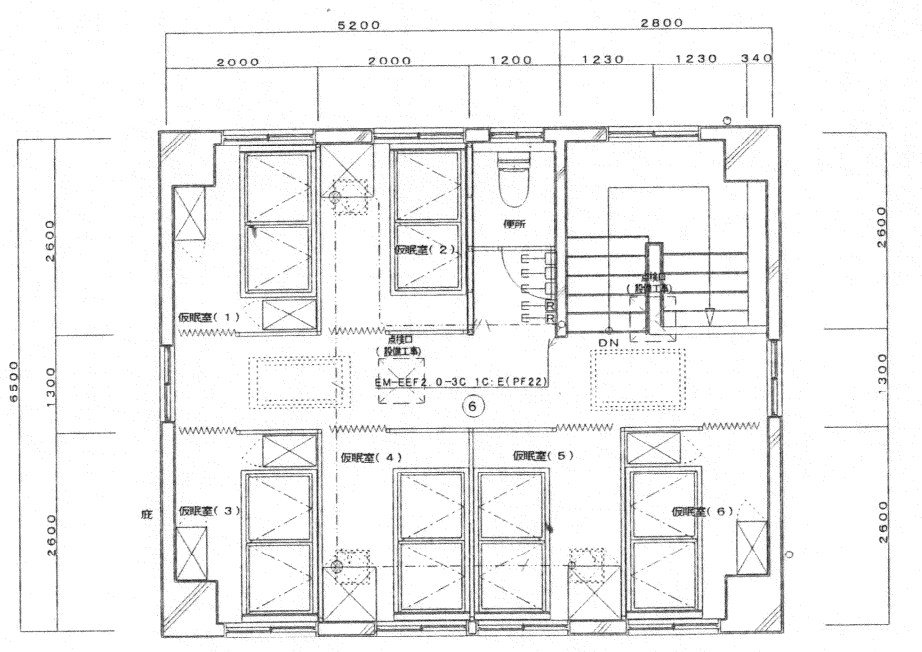


S-1の二次配線

記号	配線 配管	用途 (3φ)	電圧 (V)	容量 (kW)
①	EM-CE5 5'-3C E2.0 (FEP30) ~ (ZNGP22)	ACP-1	3φ200V	3.2kW
②	EM-CE5 5'-3C E2.0 (FEP30) ~ (ZNGP22)	ACP-3	3φ200V	1.3kW
③	EM-CE5 5'-3C E2.0 (FEP30) ~ (ZNGP22)	ACP-2	3φ200V	3.4kW
④	EM-CE5 5'-3C E2.0 (FEP30) ~ (ZNGP22)	ACP-4	3φ200V	4.7kW

1. 室内への配線は、2種可とう管 (防水ブ力カ) を使用すること。
2. コンクリート基礎への立ち上げは、埋設電線管 (埋設型ダクト) を使用すること。



注記

1. 図中、特記なき配線は下記による。
EM-EEF 1.6-3C (MM-A)
EM-EEF 1.6-3C 1C-E
EM-EEF 2.0-3C 1C-E
メタルモールA型

2. 二重天井内ケーブルは、配線し、壁内立上げ、引下り部分は、壁へは電線管 (P.F.管) にて保護する。
※電線はアルミバネーション (P.F.管) 及び金具を使用。
はコア接地箇所を示す。
図中 ⑤ は天井点検口 (600×600) 本工事を示す。

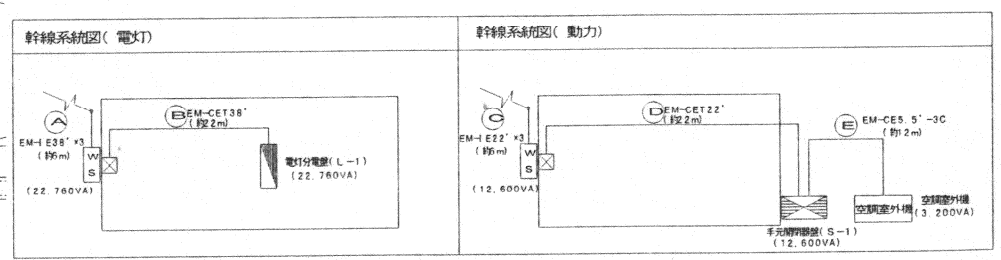
2階平面詳細図 S=1/50
(幹線 空調動力設備)

ブルボックス寸法表

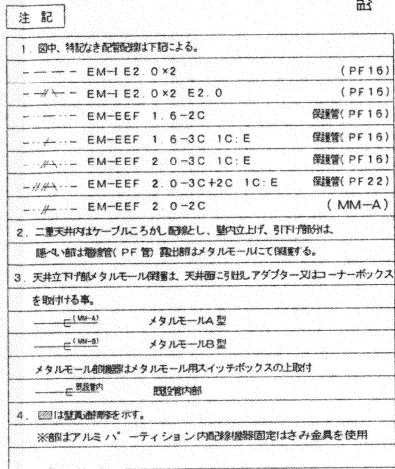
PB-1	400 × 400 × 400 SUS-WP
PB-2	300 × 300 × 300 SUS-WP

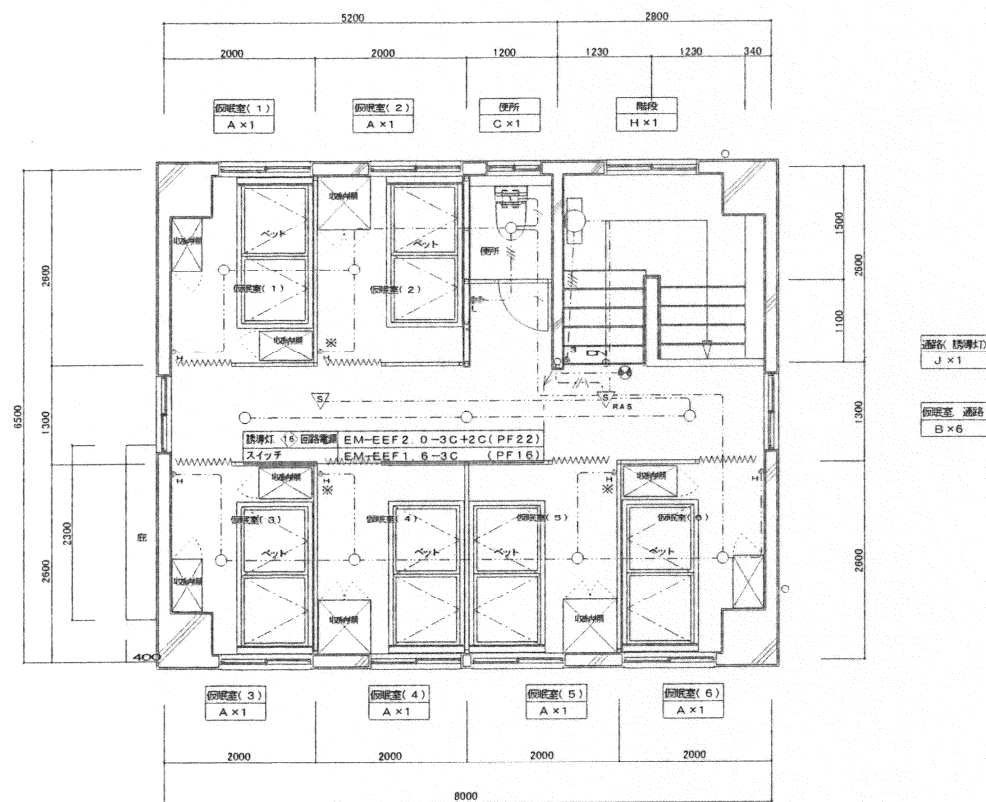
電 圧 降 下 計 算 書

	種別	負荷名称	電線サイズ	電圧方式	相長		設備容量 (VA)	需要率 (%)	負荷容量 (VA)	負荷電流	電圧降下	累積電圧降下		累積相長	判 定
					(m)	(V)					(%)	(%)	(m)		
電 灯	Ⓐ	引込口→引込管内設置	EM-1 E38" x3	1 φ3W 200/100	6	22.760	100	22.760	113.8	0.32 A	0.32 A	0.22	6	≤ 2 % OK 2 %以下 (直)	
	Ⓑ	引込管内設置→ 電灯盤 -1	EM-CET38"	1 φ3W 200/100	15	22.760	100	22.760	113.8	0.80	A+B	1.12	21	≤ 2 % OK 2 %以下 (直)	
動 力	Ⓒ	引込口→配管内設置	EM-1 E22" x3	3 φ3W 200	6	12.600	100	12.600	60.48	0.26 C	0.26 C	0.26	6	≤ 2 % OK 2 %以下 (直)	
	Ⓓ	引込管内設置→ 半元形電灯盤 -1	EM-CET22"	3 φ3W 200	22	12.600	100	12.600	60.48	0.84	C+D	1.20	28	≤ 2 % OK 2 %以下 (直)	
	Ⓔ	半元形電灯盤5 -1→ 空調機計機	EM-CE5 5" -3C	3 φ3W 200	12	3.200	100	3.200	15.36	0.52	C+D+E	1.72	40	≤ 2 % OK 2 %以下 (直)	
幹線 2 (3) %以下 2 %以下															
60 m以下															
60 mを超え120 m以下 5 %以下															
120 mを超え200 m以下 6 %以下															
200 m超過 7 %以下															

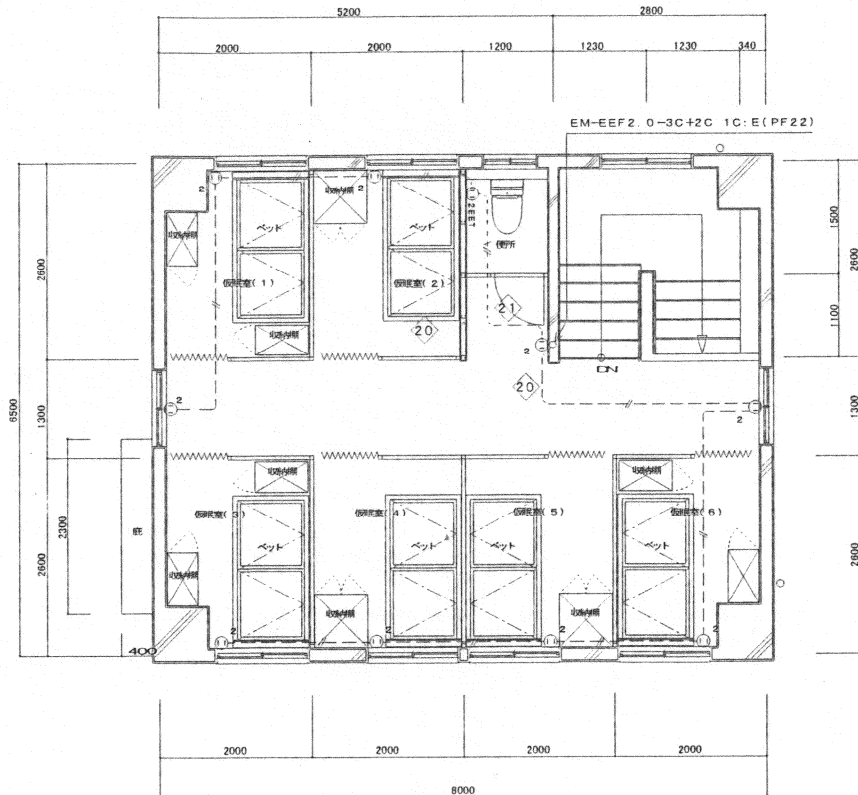


1階平面詳細図 S=1/50
(幹線 空調動力設備)

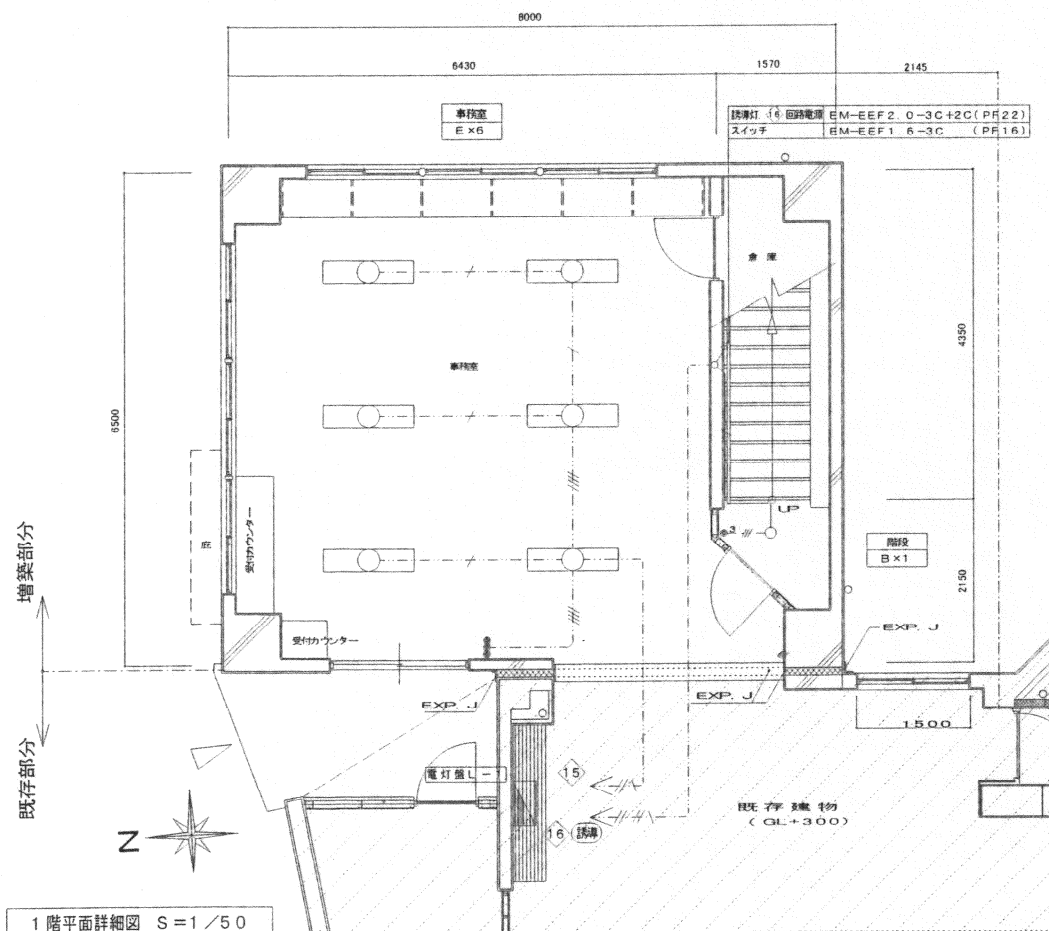




2 階平面詳細図 S=1/50
(電灯設備)



2 階平面詳細図 S=1/50
(コンセント設備)



1 階平面詳細図 S=1/50
(電灯設備)

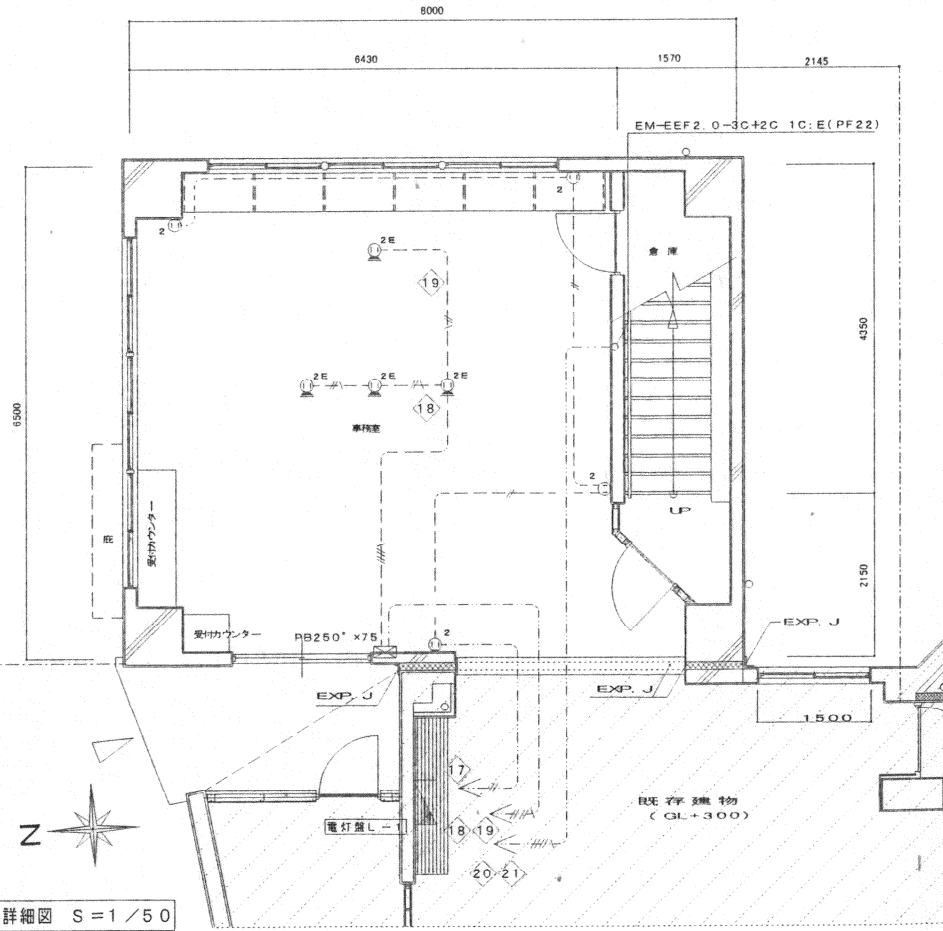
注記

- 図中、特記なき配線設備は下記による。
 EM-EEF 1.6-2C
 EM-EEF 1.6-3C
 EM-EEF 1.6-3C 1C:E
 EM-EEF 2.0-3C 1C:E
- 二重天井内はケーブルにのみ配線とし、壁内立上げ、引下り部分は、
 暗〜明は電線管 (PF 管) にて保護する。
 ※暗〜明は電線管 (PF 管) にて保護する。

注記

- 図中、特記なき配線設備は下記による。
 EM-EEF 2.0-2C
 EM-EEF 2.0-3C 1C:E
 EM-EEF 2.0-3C+2C 1C:E
 EM-IE 2.0x2 (PF16)
 EM-IE 2.0x2 E2.0 (PF16)
 EM-IE 2.0x4 E2.0 (PF22)
- 二重天井内はケーブルにのみ配線とし、壁内立上げ、引下り部分は、
 暗〜明は電線管 (PF 管) にて保護する。

増築部分
既存部分



1 階平面詳細図 S=1/50
(コンセント設備)

鹿児島市建設局建築部施設課

課長 係長 係

一級建築士事務所 知事登録1-19-215号

株式会社 ナック

一級建築士登録番号198067号 有川正隆

設計 担当 製図

設計年月日

H23.3

縮尺

1:50

工事名

伊敷分遣隊増築その他電気設備工事

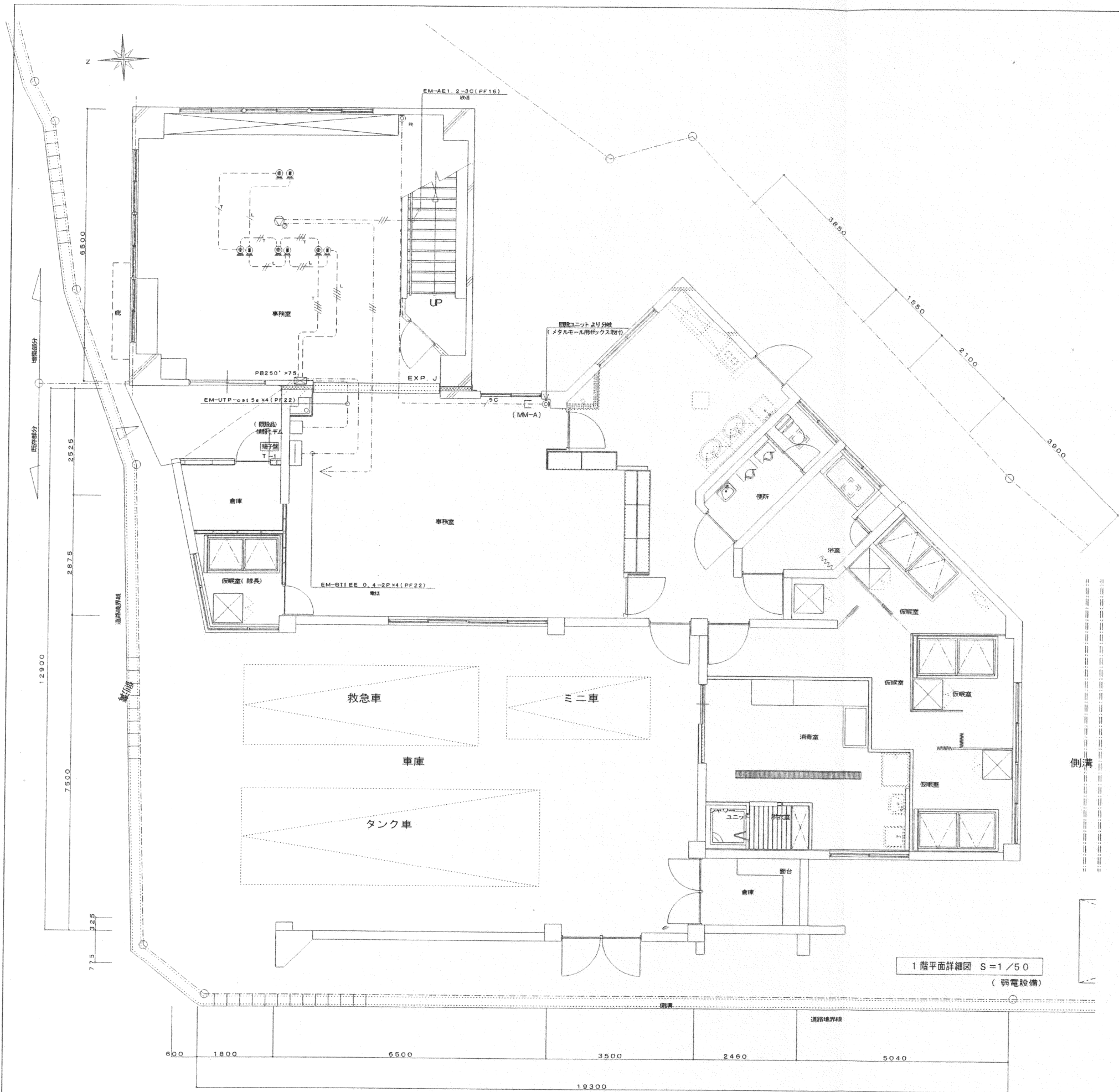
図面種類

増築棟 電灯 コンセント 設備平面図

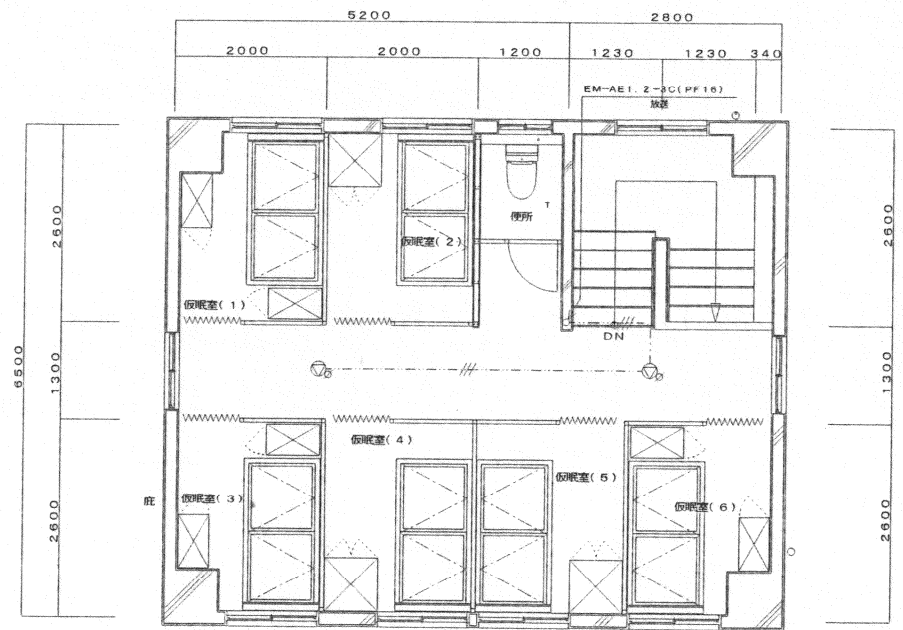
図面番号

7

全 9



1階平面詳細図 S=1/50
(弱電設備)



2階平面詳細図 S=1/50
(弱電設備)

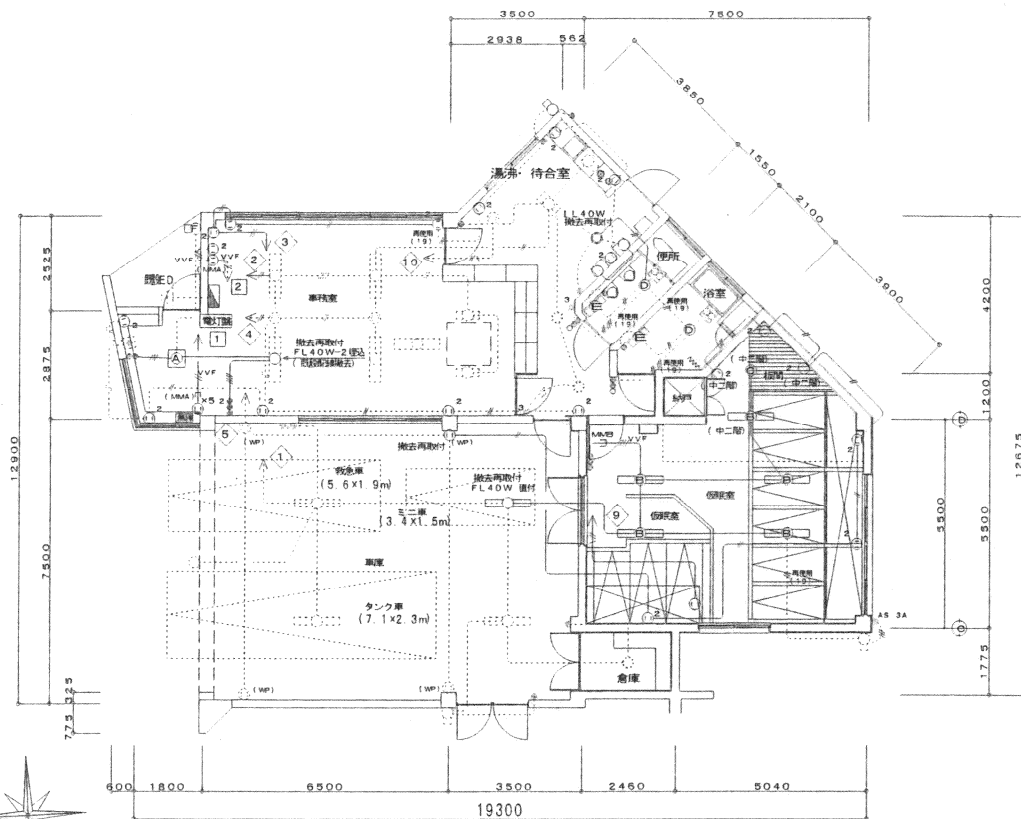
注 記	
1. 図中、特記なき配線設備は下図による。	
<放送設備>	
EM-AE1. 2-3C (PF16)	
<テレビ設備>	
EM-S-5C-FB (PF16)	
<電話設備>	
EM-BTIEE 0. 4-2P (PF16)	
EM-BTIEE 0. 4-2P×2 (PF16)	
EM-BTIEE 0. 4-2P×3 (PF22)	
EM-BTIEE 0. 4-2P×4 (PF22)	
<情報設備>	
EM-UTP-cat 5e (PF16)	
EM-UTP-cat 5e×2 (PF16)	
EM-UTP-cat 5e×3 (PF22)	
EM-UTP-cat 5e×4 (PF22)	
2. 二重天井ケーブルがろがし配線とし、壁内位上げ、引込用配線は、 屋へ前記配線(PF 管)にて配線する。	

撤去凡例			
記号	名称	仕様	備考
	電灯分電盤	新設分電盤	
	照明器具	照明器具撤去/スト 参照	打込みボックスは撤去
	電灯スイッチ	大角型 P15A SUS. P	打込みボックスは撤去
	電灯スイッチ	大角型 W15A x1 SUS. P	打込みボックスは撤去
	電灯スイッチ	大角型 P15A x3 SUS. P	打込みボックスは撤去
	電灯スイッチ	大角型 P15A x3 PLH SUS. P	打込みボックスは撤去
	電灯コンセント	2P15A x2 SUS. P	打込みボックスは撤去
	配管・配線	1V1.6 x2 (19)	配管再使用
	配管・配線	1V1.6 x4 (25)	配管再使用
	配管・配線	1V1.6 x5 (25)	配管再使用
	配管・配線	1V1.6 x2	打込み配管は撤去
	配管・配線	1V2.0 x2	打込み配管は撤去
	配管・配線	1V1.6 x3	打込み配管は撤去
	配管・配線	1V1.6 x4	打込み配管は撤去
	配管・配線	VVF2.0-2C (MM-A)	
	配管・配線	VVF1.6-2C x2 (MM-A)	

細線で示す部分は現況のままとする。

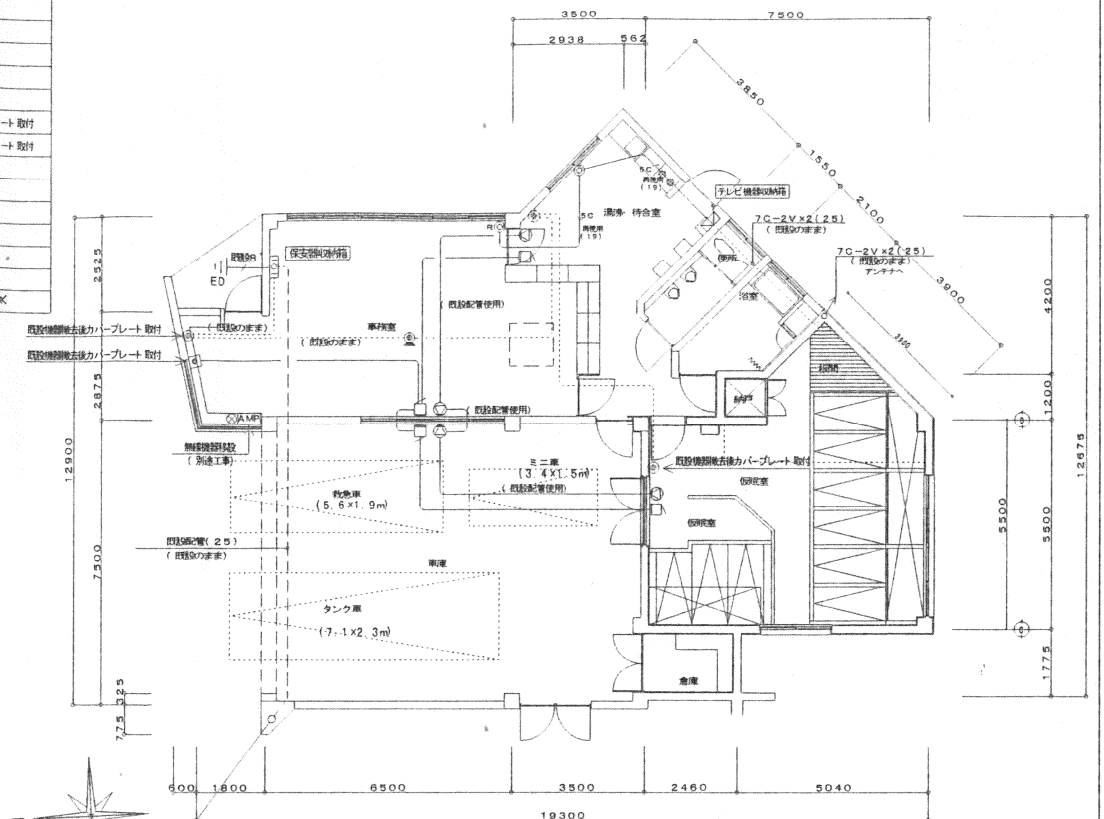
照明器具撤去リスト

(A)	FCL40W-30W 直付型	撤去
(B)	FL40W-1 直付型	撤去
(C)	FCL40W 直付型	撤去
(D)	IL60W 直付型	撤去
(E)	FL15W-1 ブラケット	撤去
(F)	FL20W-2 ブラケット	撤去



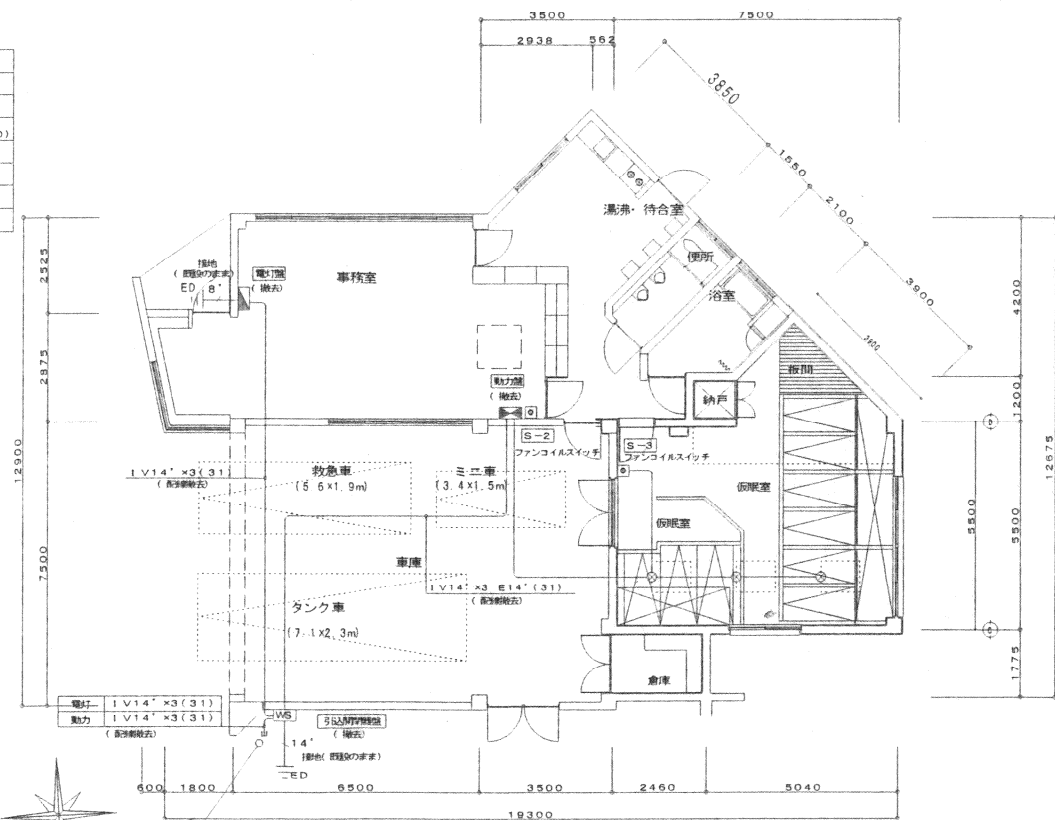
改修前 1 階平面図 S=1/100
(電灯コンセント設備)

撤去凡例			
記号	名称	仕様	備考
	保安器・ブレーカー	20P	
	電灯用・ジャンク	壁	既設のまま
	電灯用・ジャンク	床	既設のまま
	スピーカ	壁 3W アッチネータ付	
	テレビユニット	2 様子型	撤去後カーブプレート 取付
	叫出ブザー・音		撤去後カーブプレート 取付
	叫出ブザー		撤去後カーブプレート 取付
	配管・配線	1V1.6 x2 (19)	配管再使用
	テレビ設備	5C-2V (25)	配管再使用
	叫出設備	1V1.6 x2 (19)	打込み配管は撤去



改修前 1 階平面図 S=1/100
(弱電設備)

撤去凡例			
記号	名称	仕様	備考
	引込用・分電盤	新設分電盤	
	電灯盤	新設分電盤	
	動力盤	新設分電盤 NFB3P100AF/75AT (400x400)	撤去後 プレート 取付
	ファンコイルスイッチ	S-2.3	撤去後 プレート 取付
	配管・配線	1V1.6 x2 (19)	打込み配管は撤去



改修前 1 階平面図 S=1/100
(幹線・動力設備)

特記事項

- 作業前の現場調査し、担当職員と協議の上撤去施工する。
- 図中表記、機材及び電線配管はすべて撤去とする。
ただし、細線で示す部分は現況のままとする。
- 打込み配管及び打込みボックスについては、改修工事で再使用されないものについては、原則撤去は認めないとする。
但し、建築の遺構に支障となる打込みボックス等の撤去については、担当職員と協議の上、撤去する。
- 改修工事で明らかになる支障となる配管配線については、図面に記載なくとも担当職員と協議の上撤去する。
- 改修前現況(旧機)電線配線等は、そのまま流用するので工事現場は、養生を行う。
- コンクリート部分の不要なボックスは、モルタル詰めまたは、カーブプレートを取付とする。

鹿児島市建設局建築部施設課

課長 係長 係

一級建築士事務所 知事登録1-19-215号

株式会社 ナック

一級建築士登録番号198067号 有川正隆

設計 担当 製図

設計年月日

H23.3

縮 尺

1:100

工事名

改修棟 撤去 現状平面図

図面種類

全 9

図面番号

9

全 9